

教科	地理歴史	科目	地理総合	開講学期	通年	単位数	4	試験	前期・後期
タイプ	Ⅲ	レポート数	12	スクーリング必要時数		4	スクーリング実施時数		14

教科書(発行者)	新地理総合(帝国書院)
補助教材(発行者)	新地理総合学習書(NHK出版) 新詳高等地図(帝国書院)

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成する。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域、地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめることができる。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、より社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深める。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	必要に応じて地図や地理情報システムを活用して必要な情報を集めることができる。	集めた情報を基に、何をなすべきかについてより深いレベルで考察ができる。	情報の意味や価値について考察し、よりよい情報の活用を目指すことができる。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	地球上の位置と時差・地図の役割と種類	第1回	前期
	第2回	現代世界の国家と領域と国家間のつながり	第2・3回	
	第3回	世界の地形と人々の生活	第4・5回	
	第4回	世界の地形と人々の生活(概説)	第5回	
	第5回	世界の気候と人々の生活1	第6回	
	第6回	世界の気候と人々の生活2	第6・7回	
後期	第7回	世界の気候と人々の生活3	第8回	後期
	第8回	世界の気候と人々の生活4	第9回	
	第9回	世界の気候と人々の生活5	第10回	
	第10回	世界の気候と人々の生活6	第11・12回	
	第11回	地球規模の課題	第13回	
	第12回	自然環境と防災	第14回	